



No. 105

平成23年 1月31日号

二輪車安全 普及協カカニュース

発行所

(社)全国二輪車安全普及協会

編集・発行人 中菌善廣

〒164-0012

東京都中野区本町 2-28-11

TEL 03-3372-5156

ホームページ

<http://www.nifukyo.or.jp>

Gミーティング特集



大阪二普協でのGミーティング風景

◆目次◆

■年頭の辞

福井威夫・全国二普協会長……………2

石井隆之・警察庁交通局長……………3

■特集・グッドライダーミーティング……………4

アンケート結果に見る受講者の傾向……………5

Gミーティング好事例……………6

■県警本部と合同でチラシを作製・配布(滋賀・兵庫)……………7

■2010年優良団体・優良販売店受賞者名簿……………11

■県二普協事業活動報告

[安全運転普及活動] 静岡二普協……………12

[G防犯登録] 大分二普協……………13

■あなたの安全とバイクを守る全国二普協の2大事業……………14

■DATA: 交通事故/G防犯登録/盗難認知・被害回復……………15

■APEC警備協力で神奈川二普協に県警より感謝状……………18

年
頭
の
辞

強い危機感を持ちながらも 積極的かつ効率的な活動を推進

会長 福井 威夫



謹んで新春のお慶びを申し上げます。年頭に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には平素から二普協活動の推進に当たりまして、多大なるご理解とご支援・ご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。

さて、国内二輪車業界を取り巻く環境はご承知の通り、先行き不透明な経済状況が続き、出荷台数についても大変厳しい状況にあります。会員の皆様にはこのような中にもかかわらず、二普協事業の遂行に向けご努力いただきましたことに対しまして、改めて感謝申し上げます。

二普協活動の大きな柱である安全普及活動については、昨年は二普協及び関係機関・団体等との緊密な連携と協力によるグッドライダーミーティング（以下「Gミーティング」という）の開催等、各種安全活動に真剣かつ積極的に取り組んでいただきました。昨年の交通事故死者数をみてみますと4,863人（12月末現在）で、一昨年同時期比マイナス51人、1.0%の減少でした。全体的に減少幅にかげりが見える中、二輪車事故死者数は871人（12月末現在）で、原付、自動二輪車ともに一昨年まで続いていた減少傾向から若干増加傾向にあり、憂慮しております。二普協としましては、政府が平成21年に新たに発表した「平成30年を目途に交通事故死者数を半減させ、これを2,500人以下とし、世界一安全な道路交通の実現を目指す」という目標の達成に寄与するために、本年のGミーティングでは、運転初心者や運転に自信のない人等に加え、高齢者等も重点対象として安全講習の拡大開催や、指導員による充実した店頭個別安全指導及び二推など関係団体との連携による高校生安全運転講習会等の安全運転指導活動を関係機関、団体との緊密な連携の下で着実に展開してまいります。

もう一方の柱である防犯活動のグッドライダー防犯登録制度（以下「G防犯登録」という）は、

昨年は警察庁へのG防犯登録推進依頼や銘柄別・都道府県別のG防犯登録新車登録計画達成のための諸対策を講じてまいりました。しかしながら昨年の新車登録率は47.8%（12月末現在）と一昨年の同時期の48.1%に比べ0.3%減となり目標の55%には及ばず、また、地域的格差も拡大しており、保有台数比率では23.0%と、依然として厳しい状況にあります。

また、二輪車盗難照会システムは、昨年は加盟店への加入促進や未稼働店に対する活用PRの継続推進等の諸対策を講じましたが、加盟販売店数は3,356店（12月末現在）で達成目標である3,500店には至っておりません。一方、全国の二輪車盗難認知件数は73,492件（12月末現在）と一昨年同時期比8,624件減少しており、また、被害回復率については38.8%で0.5%の増加であります。まだまだ盗難問題は二輪車の利用環境にとって大きな障害となっております。

皆様には現下の厳しい経済環境下で何かとご苦勞も多いかと思いますが、安全防犯活動は二普協活動の大きな柱であるとともにより良き二輪車利用環境にとっても必要な事業でもあります。また、このような中だからこそ、今一度お客様視点に立ち返り、業界のなすべきことを整理し、集中して効率よく確実に実行する必要があると考えております。

強い危機感を持ちながらも明るく前向きに本年も皆様と一緒に事業目的達成のため積極的かつ効率的な活動を推進していく所存ですので、昨年同様、皆様のご理解・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

おわりに皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈りいたしまして新年のご挨拶といたします。

年
頭
の
辞

交通事故犠牲者の一層の減少へ 官民一体となった取組みが不可欠

警察庁交通局長 石井 隆之



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、日頃から交通警察行政各般にわたり、御理解と御協力をいただき、また、二輪車の交通安全活動の推進に特段の御尽力をいただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

さて、平成22年中の交通事故情勢につきましては、死者数が一昨年に引き続き5,000人以下の4,863人となったほか、発生件数及び負傷者数も過去最悪であった平成16年から引き続き減少しております。

これも皆様方を始めとする関係各位の御尽力の賜であると改めて感謝する次第であります。

しかしながら、個々の交通事故事件に目を向けてみますと、交通事故死者数の約半数を65歳以上の高齢者が占めているほか、未だ飲酒運転等の悪質違反に起因する交通事故によって、多くの尊い命が犠牲となるなど、交通情勢は決して予断を許すことのできない厳しい状況にあります。

こうした情勢の中、警察といたしましては、「平成30年を目途に、交通事故死者数を半減させ、これを2,500人以下とし、世界一安全な道路交通の実現を目指す」という政府目標の達成に向け、事故実態に即した効果的な街頭活動、地域や職場に根ざした体系的な交通安全教育、悪質性・危険性・迷惑性の高い違反の交通指導取締り、交通安全施設の整備充実等の諸対策に全力を傾注しているところであります。

また、高齢化の進む社会情勢にかんがみ、昨年4月からは、高齢運転者等専用駐車区間制度の運用を開始しているほか、先般、高齢運転者標識について、いわゆる「もみじマーク」に代わる新たなデザインを決定し、その施行を本年2月に予定するなど、高齢運転者に対する安全運転支援策の一層の充実を図っております。

本年4月からは、政府の第9次交通安全基本計画（平成23年度～平成27年度）が開始されます。

警察としても、交通事故犠牲者のより一層の減少を目指して、各種施策を推進してまいります。もとより、交通死亡事故抑止は、ひとり警察のみで達成できるものではなく、関係機関・団体との緊密な連携による官民一体となった取組みが不可欠であることは申すまでもありません。

次に、昨年の二輪車事故の状況をみますと、自動二輪車乗車中の事故死者数が、この10年間で減少しているものの、原動機付自転車乗車中の事故死者数は、前年と同数になっております。

年齢層別の事故死者数は、自動車二輪車では、40歳代、50歳代及び75歳以上で前年より増加し、また、原動機付自転車では、65歳以上の高齢者が約半数を占めている状況にあり、憂慮すべき事態となっております。

このような年齢層の運転者に対して、積極的な交通安全教育の実施が必要であります。貴協会が実施しておられる「グッドライダーミーティング」や貴協会も協力されている「二輪車安全運転講習」、「原付安全運転講習」での安全教育に期待するところであります。

また、「グッドライダー防犯登録制度」につきましては、二輪車の盗難防止と被害品の回復に成果を上げるとともに、グッドライダーの広がりが安全運転意識の拡大に貢献しているところであります。さらに、「二輪車盗難照会システム」につきましても、被害回復及び盗難二輪車の流通防止に成果を上げており、両制度がより充実したものとなるよう皆様の更なる御努力に期待するところであります。

結びに、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

特集 グッドライダーミーティング

全県実施まであと一歩



平成18年度から全国二普協事業の新たな柱としてスタートを切った「グッドライダーミーティング」（以下「Gミーティング」という。）はこれまでに総計41都道府県で延べ346回開催し、受講者数は累計14,136名に達しています。目標として掲げている全都道府県での開催まであと一歩のところまで到達しました。

Gミーティングの狙い

Gミーティングは、誰でも気軽に参加できる体験型の安全運転講習です。その狙いは、安全運転を個人の規範に訴えかけ直接安全行動を指導するものではなく、実技講習を通じて受講者それぞれの技量を把握してもらおうとともに、混合交通の中での危険要素を投げかけることで、受講者が自ら考え、安全行動への動機付けを図り、二輪車の事故防止を図るものとなっています。

Gミーティング発足の経緯

Gミーティングのルーツは、平成3年10月に東京二普協が開催した二輪車安全運転講習会「第1回グッドライダーミーティング」です。“グッドライダー宣言”をしたライダーを対象に無料のライディングスクールを警視庁府中運転免許試験場にて実施しました。当時は交通事故件数が増加の一途をたどっており、若者ライダーによる死亡事故にも歯止めがかからない状況がありました。そこで、東京二普協をはじめとする二輪車業界関係者と警視庁交通部が一致協力し、若者ライ

ダーに基本的なテクニックとルール、マナーを身につけてもらい、事故防止と二輪車環境の改善を図っていくことを目的に実施しました。これ以降、東京二普協安全普及委員会が主体となり企画運営され、関東各県そして全国へと広がっていきました。ちなみに平成18年度に関東以外の二普協で最初に開催したのは、大阪二普協以下5県です。

開催実績

平成18年度からの開催実績は表のとおりです。

この5年で、県数は2.7倍、講習回数は2.5倍、受講者数は2.8倍に拡大しました。

また、地域ごとに特色のある運営を行っているケースも見られます。受講者を女性限定とした“レディース講習会”（千葉）、通学にバイクを利用している高校生を対象とした講習会（熊本等）、訪問介護にバイクを利用しているホームヘルパーを対象とした講習（大

◎Gミーティング実績推移表

	開催県数	延べ 開催回数	延べ 受講者数
平成18年度	15	37	1,330
平成19年度	26	56	2,215
平成20年度	29	73	3,071
平成21年度	37	86	3,696
平成22年度 (※12月末現在)	41	94	3,824
計	41	346	14,136

阪等)、会場にサーキット場を使用(宮城)など多彩です。

今後の課題

Gミーティングの実施には、「関係機関・団体との協力」「講習会場の確保」「指導員の手配」「運営資金の調達」など克服しなければならない課題が数多くあります。全国二普協では、未実施県におけるこれら課

題の解決に向けた助言と支援を行い、全都道府県の完全実施をめざします。

また、若年層や高齢者など事故死者数の割合が多い年齢層の参加をどのように促進するか、効果的な方法を模索する必要があります。

運営方法のマニュアル化や指導方法の統一に向けた研修の実施にも取り組む必要がある一方、各地域ごとに特色のある講習にしていける必要もあります。

アンケート結果にみる受講者の傾向

講習終了後に行ったアンケートから、Gミーティングの受講者の傾向を分析します。今回は東京(平成14年・21年・22年)、香川(21年・22年)、愛媛(22年)の3都県のデータを使用しました。(n=1,046名)

【年齢】

最も多いのは「30代」の34.1%、次いで「40代」の32.3%、両者ではほぼ3分の2を占めています。「60代以上」は2.2%、100人に2人の割合にとどまっています。

10代	1.7%
20代	19.5%
30代	34.1%
40代	32.3%
50代	10.1%
60代以上	2.2%

【性別】

「男性」が圧倒的に多く85.9%に達しています。ただ、千葉県など女性限定の“レディース講習会”を実施しているケースもあり、全国的に見れば比率が改善する可能性があります。

男性	85.9%
女性	14.1%

【運転経験年数】

最も多いのが「10年以上」のベテランライダーで約4割を占めます。次いで「1～3年」の23.3%、「1

1年未満	17.1%
1～3年	23.3%
4～5年	8.8%
6～9年	11.4%
10年以上	37.6%
不明	3.2%

年未満」の17.1%と続きます。「4～9年」の中間層が少ないのが不思議なところです。

【講習をどこで知ったか】

「協会等のホームページ」が52.9%で最多。次いで「友人・知人を通じて」が23.1%。「販売店」は約1割と振るいません。

販売店	9.9%
ホームページ	52.9%
友人・知人を通じて	23.1%
その他	14.1%

【二輪車実技講習会受講経験】

最も多いのは「10回以上」で37.2%、次いで「3～5回」の29.3%。「初めて」は14.4%にとどまっています。Gミーティングの価値はリピーターが多いことで証明されていますが、その価値を新規の受講者をいかに伝えていくかがカギといえます。

初めて	14.4%
1～2回	7.4%
3～5回	29.3%
6～9回	11.7%
10回以上	37.2%

【所有しているバイクの種類】

「750cc以上」が最多で30.5%、次いで「125cc～249cc」の21.5%。以下、「400cc～749cc」の20.4%、「250cc～399cc」の18.5%と続き、いわゆる自動二輪が9割以上を占めています。

50cc未満	4.2%
50cc～124cc	4.8%
125cc～249cc	21.5%
250cc～399cc	18.5%
400cc～749cc	20.4%
750cc以上	30.5%

【講習に参加した理由】

最も多いのは「技術の向上」で53.0%。「安全運転に役立つよう」が27.4%、「基礎から学びたい」が11.6%と続いています。

基礎から学びたい	11.6%
技術の向上	53.0%
安全運転に役立つよう	27.4%
指導員になりたい	2.5%
その他	5.4%

【感想・意見（自由回答）】

「大変なめになった」「自分の苦手なところ、技量不足がわかった」「教習所より実践的で良かった」など講習の内容に対する評価は総じて高いことが分かります。また、「練習になった、また参加したい」「数カ

月単位で定期的で開催してほしい」などリピーターが多いことを証明する結果となっています。一方で「初心者講習とあるが、周りの方が非常にうまく走りづらかった」など受講者の技能レベルの違いによるギャップも見られました。

印象的なものは「参加前はコワイ印象をもっていたが、参加してそんなこと全くなかった」で、新規受講者の拡大のためには、主催者サイドによるこうした感覚的な障壁を取り除く努力がさらに必要であることを示唆しています。

さらに「イベントの広報の方法について、もう少し窓口を広げたら良いと思う」などは、Gミーティングを高く評価する一方で、告知に関する取り組みをより一層強化する必要があること示しています。

Gミーティング好事例

指導員研修会を
Gミーティングと併催 —— 沖縄

沖縄二普協では、Gミーティングの実施には欠かすことのできない「指導員」の養成に力を入れています。昨年7月、県警本部運転免許試験場において「指導員講習会」を実施しました。当日はGミーティングを開催。講習会を受講した直後、指導員として指導に当たるというより実践的な内容でした。参加者は合計17名（うち女性2名）でした。

講習会は、開講式・諸注意に続き、まず座学として「指導員の心得」を聴講した後、実技における指導要領を学びました。指導は全国二普協安全部会長の松井特別指導員が担当しました。

終了後直ちに指導員はGミーティングに参加。先輩指導員から実践的な指導方法などについて学び、指導員としての第一歩を踏み出しました。

バイク通学の
高校生を対象 —— 熊本

熊本二普協では、天草・上天草地区の4校のバイク通学をする高校生を対象としたGミーティングを昨年4月に実施しました。会場は天草自動車学校で、熊本県警本部、熊本県安協、九州二輪車協会の後援を得ました。

受講者は合計29名（男性12名・女性17名）で、このほかに一般からの参加も6名（男性4名・女性2名）ありました。指導員は19名で、うち白バイ隊員3名に参加いただき、指導にあたっていただきました。

参加した高校生からは「運転の技術がついて良かった」「沢山指導して頂いてとても勉強になった」など評価する意見が多かった一方、「実際に路上に出てみる」「(道路の) 右側の建物に入る方法」などより実際の指導を望む声がありました。



県警本部と合同でチラシを作製・配布



滋賀 二輪車事故防止へ 県警が独自デザイン

滋賀二普協は、滋賀県警本部と合同で、二輪車の交通事故防止とG防犯登録への加入を呼びかけるチラシを3万枚作製しました。特に事故防止を呼びかける面では、県警本部が独自にデザインした事故発生地点のケーススタディを印刷しています。

チラシ作製の背景には、平成22年上半期の県内の二輪車死亡事故の急増がありました。5月の時点で平成21年年間の死者数に並ぶハイペースで推移したため、官民一体となった取り組みが急務となったことにより、事故死者数は8月まで増加が続きましたが、チラシを配布した9月以降はゼロで推移。12月末時点で継続中です。

滋賀県警ではさらに、県内のG防犯登録取扱店に対して「二輪車事故防止のための交通安全活動の協力依

頼について」と題する県警本部交通部長名の文書を発信。二普協活動に対する強い信頼を示しています。

兵庫 G防犯の加入促進と 二重ロックをアピール

兵庫二普協は、兵庫県警本部と合同でG防犯登録制度への加入促進をアピールするチラシ5万枚を作製しました。基本デザインは二普協のG防犯登録チラシですが、県警の要望により「オートバイの盗難防止にツーロック、U字ロックが威力を見せています」の文言とオリジナルイラストが描かれています。

今回のチラシ作製については、県内のG防犯登録件数が少ないことを県警本部が憂慮。協力できることはないかとの申し出があったことに端を発します。

完成したチラシは、県内のG防犯加盟店に配布したほか、県警本部からの申し出により、各警察署の窓口

グッドライダーの安全テクニック!

case 1 必ず一時停止を!

田んぼの中の見通しの良い交差点で出合頭事故! 「ぶっかって初めて相手に気が付いた」なんて? 交差点では「止まる-見る-待つ」が大事です。

危険を避けるために注意すること

- 「今日モクモクは来ないだろう」とぼんやり運転は危険です。運転には緊張感を持ちましょう。
- 一時停止の機会や信号が近い交差点でも、すぐに止まれる速度で走行して、安全を確認して通過しましょう。
- 交差点で見ることと同時に、自分を相手に見せる工夫も必要です。

case 2 対向右折車に注意!

交差点を青信号で直進しようとしたところ、対向車が突然右折してきて、右面事故! 「まさか、バイクが来ていたなんて」と対向車の運転手はびっくり。

危険を避けるために注意すること

- 対向の二輪車はスピード感が実感よりも速く感じられ、また、距離も離れているように見えます。判断ミスで右折するクルマがあることを予測し、速度を落とし、右折車の動きに注意しましょう。
- おまけで、無罪に右折を開始するクルマがある。「前進車優先」を過信しないで、十分注意しましょう。

case 3 カーブではスロウダウン!

オーバースピードで左カーブに進入し、外側にくらみガードレールに衝突! カーブでは、「スローイン・ファーストアウト」が原則です。

危険を避けるために注意すること

- カーブでは、道心が窄まります。カーブ手前では、十分速度を落としましょう。
- センターラインを越えてくる対向車を予測して、道路の左側を走るようにしましょう。
- 勢いの強い直進では、脇見が危いです。カーブを見通さず、急ブレーキを踏んで走り抜きましょう。

やさしさが キラリ湖国の 交通マナー
滋賀県二輪車安全普及協会 滋賀県警察
県警によるオリジナルデザイン (滋賀)

グッドライダー 防犯登録

に加入すると…

- 車がコンピューターに登録されます。
- ユーザーカードとステッカーが発行され、真の所有者であることを証明できるようになります。
- 登録とステッカーを貼ることで、盗難防止につながります。
- 盗難や放置された場合は、警察及び二普協の「二輪車盗難照会システム」との連携で、早期発見がされやすくなります。

二輪車盗難照会システム

とは?…

- (社)全国二輪車安全普及協会が、公安委員会からの盗難車の情報を受け、そのデータから販売店等に持込まれた車が盗難車かどうかを、即時に知ることが出来る、安心のシステムです。
- 「二輪車盗難照会システム」取扱店であれば、全国どこでも盗難車を照会できます。

二輪車盗難防止システムの流れ

ライダースはユーザーカードを発行
登録料が不要車向電話問
ヤッター! 戻ってきてよかった。
登録して戻ってきた。
インターネット
盗難照会システムでの検索確認
所轄警察署

●盗まれたバイクが発見された時は、必ず警察及び二普協へ届けを出しましょう。
●所有車の変更や廃車した時は、必ず二普協へ届けを出しましょう。

オートバイの盗難防止に ツーロック、U字ロックが 威力を見せています。

兵庫県二輪車安全普及協会 兵庫県警察
下方4分の1が独自の部分 (兵庫)

優良販売店129店、優良地域団体38団体に栄誉

G防犯登録制度推進「平成22年度全国二普協会長表彰」

グッドライダー防犯登録制度推進優良販売店

計129店

都府県地区名	店名	代表者氏名
札幌	ホンダドリーム札幌 クルムスSAPPORO ナカムラモーターサイクル	佐藤 晃 大村 直幸 中村 博
旭川	(株)オートジョンブル (有)ホンダウイングアルファ モトハウスケンケン	矢倉 卷純 中島 昌平 森川 健二
帯広	(有)びとう商会 YSP帯広	尾藤 輝幸
北見	(有)RSJ-1 (株)オクヤマ	秋山 忠博 奥山 俊二
青森	YSP青森中央 YSP八戸 (株)ハナイチモータース	成田 郁久 三浦 健至 伊藤 平八郎
岩手	北上ホンダ (有)サイクルショップ松園 花巻オート	加藤 正喜 及川 忠志 照井 清
宮城	サターンコスモス ライダーサロンオオイズミ 山田輪業商会	佐藤 幸夫 大泉 浩一 山田 幹雄
秋田	佐藤モーターサイクル桜店 カマダサイクル	佐藤 俊二 鎌田 誠一
山形	(株)ホンダウイング荘内 塚本サイクル カガミサイクル	荒生 和人 塚本 三郎 鏡 彰一郎
福島	オートスペースゼウス鎌田店 MXプロ モトアルファ オートショップ神野南店	福島 淳司 菅野 章 神野 軍
東京	バイクショップロミオ多摩店 (株)ホンダ二輪・新宿バス事業部 (株)モトウイング須賀	祐谷 雅嘉 青木 弘進 須賀 進
茨城	(有)中央オートサイクル ホンダドリームつくば南 (有)ホンダツーワン	久野 哲男 大島 清司 早見 豊
栃木	ホンダドリーム宇都宮 バイクステーションSOX SBS足利 (有)岡モータース	岡 康夫 佐藤 隆一 岡 康夫

群馬	バイカーズステーション ソックス大泉店 ホンダドリーム高崎 バイクショップ ヤマモト	佐藤隆一 五十嵐孝光 山本秀人
埼玉	(株)弁慶 ホンダドリーム草加 エフワンオート	林青雲 大塚清孝 田邊治彦
千葉	(有)袖ヶ浦ホンダ本店 (有)MDモーターサイクルス 関モーターズ	小林宏子 土居光夫 関一男
神奈川	丸富オート販売(株)金沢店 (有)サカエオート (株)スプラウト	長田憲治 中村昌弘 仲條敏昭
新潟	(有)佐上商会 (株)ブライトン 桜井自転車本店	佐上博志 川内武志 桜井春夫
山梨	(有)ミカサ商会 川上輪業 オートショップ ヤノ	小野弘樹 川上国一 矢野正洋
長野	ホンダドリーム長野 ホンダドリーム松本 トネガワオート(株)	小林邦博 赤羽博巳 舎川淳一
静岡	YSP浜松 YSP静岡東 YSP浜北大橋	和田茂 和田茂 太田徳次
富山	YSP富山東 YSP富山中央 スズキワールド富山	叶井廉 酒井宗一 小谷正裕
石川	MOTOR HOUSE BIKE ON 金沢田上店 二輪館にしむら	片岡匡史 西村健一
福井	赤い3輪車 (株)バイクガレージ福井	小林幸弘 出口幸宏
岐阜	YSP各務原東 (株)ギフトトップトレーディングカンパニー	堀尾明宣 土井悟
愛知	合資会社伊藤兄弟商会 スズキワールド天白 ホンダドリーム高浜	伊藤勝己 小谷正裕 金原昭行
三重	(株)今西マシントテクノ 四日市 片山モーターズ ホンダドリーム松阪	今西美知代 片山義克 稲葉茂樹
滋賀	バイクショップロミオ滋賀店 (有)サイクルたなか 西谷自転車商会	末金成俊 田中武司 西谷耕一
京都	バイクショップロミオ京都北店 U-Bike kyoto 昭和モーターズ	末金成俊 谷本澄夫 谷口泰一
大阪	(株)二輪館 ホンダドリーム高槻 AUTO PLAZA 太閤	奈良利昭 稲富博文 阪田博

兵 庫	バイクショップロミオ西宮店 アリマサイクル バイクショップアングル	末 金 成 俊 有 馬 昌 平 陰 山 辰 朗
奈 良	勅使河原商会 二上サイクル 谷村モーターズ	勅使河原 光三 谷 村 延 孝 谷 村 重 則
和 歌 山	りんくるきし つつみサイクル 坂井モーターズ	貴 志 哲 堤 昇 夫 坂 井 隆
鳥 取	日吉津ホンダ販売(有) サイクルランドUEKI 森谷商会	杉 谷 正 司 植 木 護 郎 森 谷 明 夫
島 根	バイクショップ マルティ松江店 バイクショップ モトム ライドオン・プロダクト SIDE-B	川 島 裕 史 大 橋 憲 一 木 村 孝 柄
岡 山	BIKE STAGE 2WAY ヤマオカオート(有) ホンダウイング福井	三 宅 修 山 岡 捷 儀 福 井 忠 士
広 島	(株)ザ バイク (有)サラダモーターランド (有)モトハウス ヒロ	織 田 典 信 皿 田 均 徳 吉 崎 浩 徳
山 口	(有)山本モーターズ バイクハウスオータニ	山 本 秀 登 大 谷 泰 彦
徳 島	(株)藤岡輪業商会	藤 岡 雅 彦
香 川	(株)バイクプラザ丸亀 (有)オートブティックちば	高 木 健 司 千 葉 清 司
愛 媛	銭形商会	矢 野 平 治
高 知	(有)オートショップ チャレンジ	裏 正 一
福 岡	(株)BC福岡店 YSP福重 カワサキプラザ福岡	中 園 末 雄 徳 安 隆 士 中 村 一 徳
佐 賀	スズキワールド佐賀	大 橋 雄 一
熊 本	(有)バイクショップ アール (有)モトプラザ野添 丸田輪業	山 野 和 明 野 添 信 市 丸 田 真 一
大 分	大久保商会 菅原サイクル バイクプラザナカノ	大久保 和 也 菅 原 正 次 中 野 篤 己
宮 崎	ホンダドリーム延岡 YOU SHOP東洋	西 山 満 幸 高 間 靖 智
鹿 児 島	バイクショップ福盛 オリタオートサービス ホンダドリーム霧島	福 盛 政 春 折 田 敏 和 東 郷 喜 八
沖 縄	ホンダドリーム沖縄 モトフリーク・ウイリー NEXT	金 城 要 赤 嶺 毅 真喜志 哲 二

優良地域団体

計38団体

都府県地区名	優良地域団体名称	代表者氏名
旭川	旭川地区二輪車安全普及協会	関谷 治
青森	八戸地区二輪車安全普及協会	田島 昇
岩手	岩手県二輪車安全普及協会ブロック会	田中 清也
宮城	宮城県二輪車安全普及協会中央南ブロック会	大友 克人
秋田	男鹿地区二輪車安全普及協会	高橋 頼雄
山形	長井二輪車安全普及協会	佐藤 邦昭
福島	福島県二輪車安全普及協会郡山支部	矢吹 正
東京	西新井二輪車安全普及協会	山中 一夫
	福生二輪車安全普及協会	山中 和一
	板橋二輪車安全普及協会	須賀 進
茨城	茨城県二輪車安全普及協会水戸支部	倉持 幸男
栃木	宇都宮東地区二輪車安全普及協会	岡 康夫
埼玉	東入間地区二輪車安全普及協会	上野 利勝
	越谷地区二輪車安全普及協会	浅見 富司雄
神奈川	平塚・大磯二輪車安全普及協会	奥野 裕
	相模原二輪車安全普及協会	平野 憲一郎
長野	大北二輪車安全普及協会	吉沢 三雄
静岡	静岡県浜松地区二輪車安全普及協会	鈴木 義夫
岐阜	岐阜県二輪車安全普及協会恵那支部	林 康浩
愛知	愛知県二輪車安全普及協会一宮支部	森 章
三重	三重県二輪車安全普及協会桑名支部	岡田 文明
大阪	城東地域二輪車安全普及協会	坂口 稔
	箕面地域二輪車安全普及協会	藤田 博昭
	堺地域二輪車安全普及協会	青木 信晴
和歌山	田辺地域二輪車安全普及協会	中 晋彦
鳥取	鳥取県西部二輪車安全普及協会	青戸 亨
島根	島根県大田二輪車安全普及協会	勝部 一央
岡山	備前二輪車安全普及協会	角野 和明
広島	広島中央地区二輪車安全普及協議会	山本 昌彦
	府中地区二輪車安全普及協議会	皿田 均
山口	山口県二輪車安全普及協会下松支部	山本 軍示
徳島	徳島県池田二輪車安全普及協会	大西 正
愛媛	松山西二輪車安全普及協会	高橋 克寿
高知	高知県二輪車安全普及協会高知支部	水口 勝文
大分	別府地区二輪車安全普及協会	牧 保
鹿児島	鹿児島西地区二輪車安全普及協会	市田 忠史
	南さつま地区二輪車安全普及協会	相星 二三夫
沖縄	沖縄県二輪車安全普及協会那覇支部	池原 武彦

県二普協事業活動報告

Gミーティング実施報告および 二輪車事故防止活動報告

静岡県二輪車安全普及協会
事務局長 生田 昌弘

昨年の(社)全国二輪車安全普及協会の通常総会(平成22年5月21日)において、前回総会から新たに創設されました「二輪車交通安全普及活動実績優秀県」として、当静岡県二普協に全国二普協会長賞を授与されました。



また、平成22年3月15日には、静岡県警察交通部長より、二輪車事故防止活動など交通安全の取り組みが評価され、感謝状が贈呈されました。

このような、すばらしい賞を頂けたのは、当協会の役員・関係者、全国二普協のご支援、ご指導があった事と存じます。この紙面をお借りして感謝申し上げます。

では、昨今の静岡県二普協としてのGミーティング実施内容および二輪車事故防止活動について、報告させていただきます。

まず、平成20年5月に静岡県二普協業務の全てを愛知県二普協が業務委託する事となり、平成20年7月3日(木)に当時の会長、八木前専務理事、市川専務理事と私の4人で静岡県警察と(財)静岡県交通安全協会に出向き、担当事務局変更等の説明を行うと同時に今後の活動をするに当たり、ご支援とご協力をお願いしました。

業務委託をしてから、静岡県二普協地区協会の総会出席、「静岡県二輪車安全運転大会」、「二輪車安全運転の集い」等のイベントに参加する事で警察、関係団体等と親交を深めて行きました。特に静岡県警察が「二輪車安全運転の集い」を共催している静岡県二輪車安全運転推進クラブ連合会のご協力も頂くようになりました。

第1の二輪車事故防止活動として静岡県では、バイク発祥の地でありながら「Gミーティング」を開催していなかった為、20年度に1回は開催する必要があると思い実施に向けて着手して行きましたが、初めて手がける県で、どのように推進して行くかを模索していたところ、静岡県二普協浜松地区が西部運転免許センター(浜松市)で原付技能講習を行っている関係上、鈴木会長が会場使用許可を取って頂き、その後、事務局で静岡県警察・(財)静岡県交通安全協会の後援名義使用許可を頂き、平成20年11月16日(日)に静岡県で初となる「Gミーティング」が開催できました。ちなみに受講料は、愛知県同様となっており、G防犯加入者は2,000円、G防犯未加入者は3,000円、但し当日、G防犯に加入して頂ければ、2,000円となります。※弁当付き。

当日は、朝から雨天となり、欠席者が心配されましたが、

参加者は27名となりました。

しかし、雨は一日、降り続け最悪な日となりましたが、事故も無く無事に終了できました。また、今回、静岡県で初開催という事で、全国二普協から古川前専務理事、加藤運営委員、ヤマハテクニカルセンターの草野前所長も視察に来て頂きました。

なお、アンケート結果としては大変、好評な意見がほとんどで、不評な意見は無く、今後も年、数回は開催してほしいと等の要望が多々ありました。

平成21年度の活動は、春と秋の全国交通安全運動期間中に「Gミーティング」を2回実施。第1回目は、4月12日(日)西部運転免許センター(浜松市)、受講者数42名、第2回目は、9月27日(日)東部運転免許センター(沼津市)、受講者数45名という結果でありました。

なお、21年度から静岡県警察も共催となって頂き、更なる協力を得て開催できました。特に昼休みは「静岡県警察の音楽隊」の演奏を聴きながらおいしく昼食を頂きました。

「Gミーティング」以外の二輪車事故防止活動は、「二輪車安全運転の集い」、「伊豆スカイライン・ライダー・事故・ゼロ作戦」等のイベント協力。

それと、8月に開催された「バイクのふるさと浜松」において、G防犯チラシを配布し、告知及び加入促進を図るとともに交通安全パレードでは静岡県二普協浜松地区の会員がパレードの先導となり交通安全防止に寄与しました。
※来場者数 32,000人

また、全国二普協から頂いた交通事故防止チラシを静岡県警察に預け、各種イベント等で配布するようお願いしたと同時に、静岡県警察からの事故防止・イベント告知等を当協会のHPにアップして、事故防止活動に取り組んで参りました。

この結果、21年中の静岡県内での二輪車死亡者数は、自27人(-5人)、原付12人(-11人)の39人で、前年の55人から16人の減少となりました。

平成22年度の活動は、21年と同様、春と秋の全国交通安全運動期間中に「Gミーティング」を2回実施。第1回目は、4月11日(日)東部運転免許センター(沼津市)、受講者数41名、第2回目は、9月26日(日)西部運転免許センター(浜松市)、受講者数45名という結果でありました。

その他の二輪車事故防止活動は、前年同様「二輪車安全運転の集い」、「伊豆スカイライン・ライダー・事故・ゼロ作戦」「バイクのふるさと浜松」等のイベント協力。また、静岡県警察からの依頼を当協会のHPにアップ。その他として、22年度は「WIMA日本ラリー(4月27日~5月3日)」が静岡県富士宮市(富士山麓近辺)で開催されるに当たり、静岡県警察は協力となり、全国二普協と当協会は後援となり、二輪車の国際化・文化・交通安全活動等に寄与しました。(女性参加ライダー 海外139名、日本119名 計258名) ※WIMAとは→(女性たちの国際オートバイ組織)の略称で、世界中のオートバイの好きな女性の親善・交流・進

県二普協事業活動報告

歩を目的とした国際組織です。詳細は簡略しますので興味のある方は、<http://www.wima.gr.jp/top.html>をご覧ください。

この結果、22年11月末現在の静岡県内での二輪車死亡者数は、自二17人（-7人）、原付9人（-2人）の26人で、前年同月比では、9人の減少となっている状況ですが、この紙面が出る時は、22年中の死亡事故者数が判明されますが昨年より減少する事を期待するとともに、今後もより一層、二輪車事故防止活動・Gミーティング等を実施し静岡県での悲惨な二輪車事故死者数等を1件でも減少させる為、事故防止活動をしていきますので、静岡県警察はじめ、静岡県二普協役員、関係団体、全国二普協の関係者皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

G 防犯登録制度の普及について

大分県二輪車安全普及協会

専務理事 岡田 敏彰



大分県のグッドライダー防犯登録制度（以下「G防犯登録制度」という。）の導入は平成10年10月1日ですが、13年間続いた店頭個別安全指導票と各地区で取り組まれていた、原動機付自転車防犯登録制度からの切り替えであり、平成10年1月27日と3月17日に県二輪車安全普及協会としてG防犯登録制度導入について会議を開き、4月8日の総会で導入を決定し、5月12日にG防犯登録制度導入について、各地区二輪車安全普及協会会長の皆様に対する説明会を、県警察本部生活安全部生活安全企画課のご指導とご協力を賜り開催し、制度導入についての了解を頂き、引き続き、7月22日から8月6日にかけて、県下6会場で、各地区二輪車安全普及協会会員318店の皆様にG防犯登録制度導入のための説明会を開催し159店（50%）のご出席を頂きました。

なお、欠席の159店に対しては、後日、県二輪車安全普及協会会員4銘柄の営業担当者を通しての資料配布と説明等を行いました。本防犯登録制度は、県警察本部のご指導とご協力、各地区二輪車安全普及協会会長の皆様と、会員4銘柄の営業担当者の皆様のご理解とご協力により、平成10年10月1日より導入することができましたが、実稼働店数について見ますと、平成11年が102店、12年が76店、13年84店、14年67店、15年64店、16年59店、17年59店、18年54店、19年54店、20年50店、21年57店という状況です。なお、県下のG防犯登録取扱店として、二輪車普及協ニュース等関係資料を送付しているお店は、制度導入時の318店から、現在では120店とさせて頂いております。

原動機付自転車 防犯登録制度からG防犯登録制度への

切り替えにつきましては、各地区二輪車安全普及協会会長の皆様と、県協会会員4銘柄の営業担当者の皆様のご努力を頂き取り組んで来たところですが、このような状況下で、自転車商組合等との交渉を続けて頂いた、別府地区二輪車安全普及協会の牧保 会長様のご努力により、平成20年より、別府地区でG防犯登録制度への切り替えを頂いたことにより、平成21年のG防犯登録件数が僅かですが、対前年を超えることができ、昨年の全国二輪車安全普及協会 会長表彰につながったと思います。

今後の普及推進については、大型量販店を始め、G防犯登録取扱実績の無い、お店に対する取り組みについて、県警察本部のご指導とご協力を賜り合わせて各地区二輪車安全普及協会 会長の皆様と会員4銘柄の営業担当者の皆様のご理解とご協力を頂き、見方を改めて原点から取り組んでまいりたいと思います。

次に、折角の機会ですので二輪車安全運転講習会について紹介させていただきます。大分県では、県警察本部のご指導とご協力と合わせて(財)大分県交通安全協会と二輪車安全運転推進委員会特別指導員・指導員の皆様のご協力を頂き、平成15年11月2日にステップアップライダーズトレーニングの名称で第1回目を開催し、翌16年は、5月9日と11月7日の2回開催、17年以降は4月又は5月と9月、11月の年3回開催しておりますが、平成20年から名称をグッドライダーミーティング（以下「Gミーティング」という。）に変更して開催し、同時に受講条件として、G防犯登録加入者に限るとしたことによる部分もあると思われます。また当講習会には毎回40名前後の受講者が有り内約半数が初参加者であることと、他県からの受講者も有り、大変好評を頂いております。

また、Gミーティングの開催につきましては、受講者の希望もあり、平成21年より年3回の定期開催とは別に、基礎編（初心者用）と上級編を計画し、平成21年は基礎編を10月25日に開催し22年は基礎編を6月20日と10月17日に開催、上級編を12月12日に開催しております。

23年以降は年3回のGミーティングとは別に、基礎編を年2回（6月10月）、上級編を年3回（5月10月12月）の開催を計画しているところです。

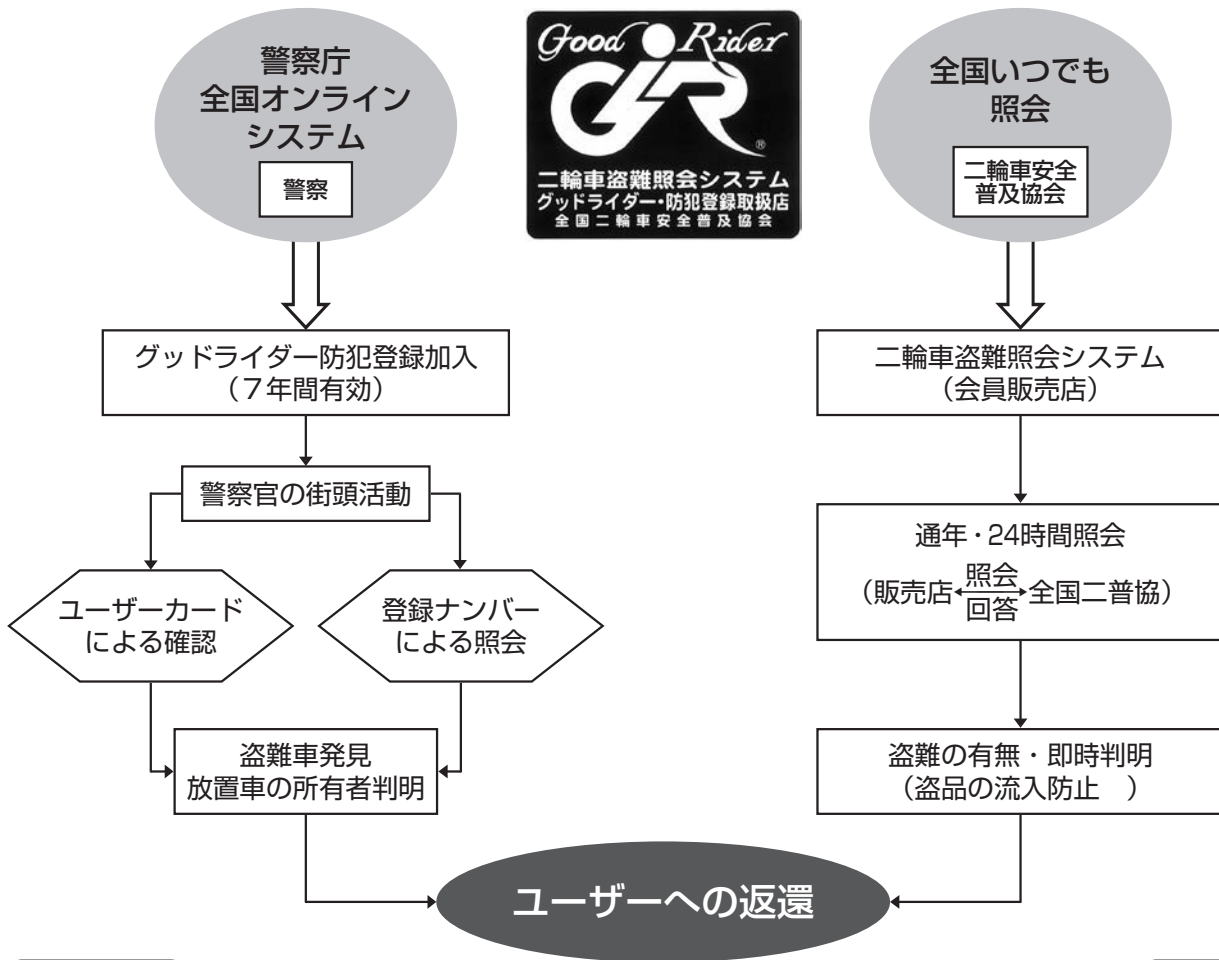
なお、二輪車安全運転講習会につきましては、第1回目の開催より講習会場、施設、資材、教材の貸与等、協賛団体として絶大なる、ご協力を頂いております(財)大分県交通安全協会様に、平成22年度より共催者としてご参加して頂くこととなり、4月25日開催のGミーティングから(財)大分県交通安全協会と大分県二輪車安全普及協会の共催で開催致しております。

大分県二普協としましては、今後ともG防犯登録の更なる普及促進とGミーティングの充実・継続開催に尽力してまいりまいる所存ですので、皆様方のご理解とご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

あなたの安全とバイクを守るための ～全国二普協の盗難防止と早期発見事業～

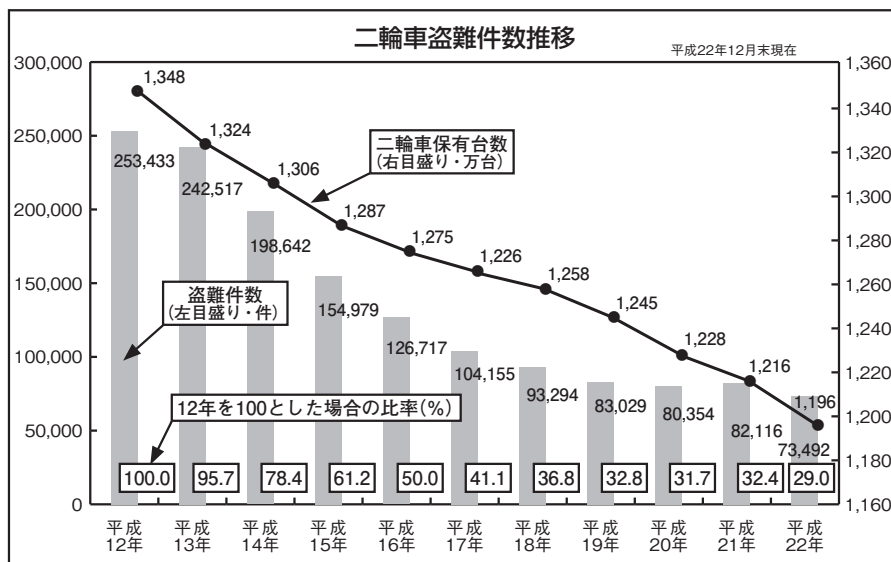
グッドライダー防犯登録

二輪車盗難照会システム



〈メリット〉

- ▽ 放置車両も即時に所有者判明 (加入しなければ照会できない)
- ▽ 全国いつでもどこでも照会できる
- ▽ ユーザーカードにより所有者判明



〈メリット〉

- ▽ 盗品売買の防止 (社会的信用)
- ▽ 無償返還の防止 (古物営業法第20条)
- ▽ 不正流通の防止 (取引の安全)

昨年の交通事故死、前年比51人減

— 二輪車乗車中は15人減 —

(平成22年12月末／警察庁資料)

	自動二輪車乗車中死者数			原付車乗車中死者数			二輪車乗車中死者数			全死者数			二輪車の死者数の構成比	
	22年 12月末	21年 12月末	増減数	22年 12月末	21年 12月末	増減数	22年 12月末	21年 12月末	増減数	22年 12月末	21年 12月末	増減数		
北海道	17	10	7	4	5	-1	21	15	6	215	218	-3	9.8	
東	青森	4	1	3	3	3	0	7	4	3	66	50	16	10.6
	岩手	3	5	-2	0	4	-4	3	9	-6	67	81	-14	4.5
	宮城	6	5	1	5	2	3	11	7	4	80	92	-12	13.8
	秋田	0	4	-4	3	4	-1	3	8	-5	60	64	-4	5.0
	山形	2	1	1	1	4	-3	3	5	-2	51	50	1	5.9
北	福島	7	5	2	8	9	-1	15	14	1	112	101	11	13.4
	計	22	21	1	20	26	-6	42	47	-5	436	438	-2	9.6
関	東京	49	47	2	23	11	12	72	58	14	215	205	10	33.5
	茨城	10	12	-2	25	12	13	35	24	11	205	199	6	17.1
	栃木	13	10	3	17	11	6	30	21	9	146	121	25	20.5
	群馬	3	6	-3	4	5	-1	7	11	-4	94	100	-6	7.4
	埼玉	35	29	6	15	21	-6	50	50	0	198	207	-9	25.3
	千葉	19	32	-13	11	17	-6	30	49	-19	184	197	-13	16.3
	神奈川	40	41	-1	25	18	7	65	59	6	182	176	6	35.7
	新潟	10	4	6	2	4	-2	12	8	4	126	113	13	9.5
	山梨	4	8	-4	2	7	-5	6	15	-9	49	38	11	12.2
	長野	7	10	-3	7	7	0	14	17	-3	110	111	-1	12.7
	計	190	199	-9	131	113	18	321	312	9	1,509	1,467	42	21.3
中	富山	5	2	3	3	2	1	8	4	4	58	59	-1	13.8
	石川	2	3	-1	4	1	3	6	4	2	64	54	10	9.4
	福井	5	1	4	1	2	-1	6	3	3	42	54	-12	14.3
	岐阜	13	7	6	2	7	-5	15	14	1	133	125	8	11.3
	静岡	19	27	-8	13	12	1	32	39	-7	165	179	-14	19.4
	愛知	26	31	-5	19	22	-3	45	53	-8	197	227	-30	22.8
	三重	8	9	-1	9	7	2	17	16	1	135	112	23	12.6
	計	78	80	-2	51	53	-2	129	133	-4	794	810	-16	16.2
近	滋賀	8	5	3	10	3	7	18	8	10	78	65	13	23.1
	京都	12	14	-2	13	7	6	25	21	4	96	101	-5	26.0
	大阪	38	38	0	16	23	-7	54	61	-7	201	205	-4	26.9
	兵庫	22	16	6	12	14	-2	34	30	4	192	176	16	17.7
	奈良	7	8	-1	2	8	-6	9	16	-7	45	52	-7	20.0
	和歌山	5	11	-6	6	4	2	11	15	-4	52	51	1	21.2
	計	92	92	0	59	59	0	151	151	0	664	650	14	22.7
中	鳥取	3	4	-1	2	3	-1	5	7	-2	42	37	5	11.9
	島根	1	2	-1	5	3	2	6	5	1	31	33	-2	19.4
	岡山	7	6	1	10	8	2	17	14	3	109	107	2	15.6
	広島	12	13	-1	14	12	2	26	25	1	127	142	-15	20.5
	山口	8	11	-3	6	6	0	14	17	-3	96	108	-12	14.6
	計	31	36	-5	37	32	5	68	68	0	405	427	-22	16.8
四	徳島	1	6	-5	2	3	-1	3	9	-6	44	48	-4	6.8
	香川	2	6	-4	7	4	3	9	10	-1	65	70	-5	13.8
	愛媛	4	6	-2	6	7	-1	10	13	-3	64	81	-17	15.6
	高知	5	5	0	2	3	-1	7	8	-1	52	45	7	13.5
	計	12	23	-11	17	17	0	29	40	-11	225	244	-19	12.9
九	福岡	26	17	9	10	15	-5	36	32	4	170	195	-25	21.2
	佐賀	8	2	6	2	3	-1	10	5	5	58	37	21	17.2
	長崎	6	7	-1	3	7	-4	9	14	-5	52	67	-15	17.3
	熊本	7	9	-2	8	8	0	15	17	-2	78	88	-10	19.2
	大分	6	4	2	3	1	2	9	5	4	65	52	13	13.8
	宮崎	2	5	-3	2	5	-3	4	10	-6	51	73	-22	7.8
	鹿児島	5	7	-2	9	9	0	14	16	-2	94	101	-7	14.9
	沖縄	10	15	-5	3	6	-3	13	21	-8	47	47	0	27.7
	計	70	66	4	40	54	-14	110	120	-10	615	660	-45	17.9
	合計	512	527	-15	359	359	0	871	886	-15	4,863	4,914	-51	17.9

グッドライダー防犯登録、出荷台数比78.3%

— 保有台数比23.0% 地域格差の解消が課題 —

(社)全国二輪車安全普及協会
(平成22年12月31日現在)

	都道府県	H22.1月～ H22.12月 出荷台数 A	H22年 3月末 保有台数 B	H21年12月末 7年満期削除済 C	登録			削除		累計	
					H22年 12月 D	H22.1月～ H22.12月 E	出荷 台数比(E/A)	H14年 12月 F	H14.1月～ H14.12月 G	H(C+E-G)	H22年保有 台数比(H/B)
北海道	北海道	3,151	216,302	13,371	3	1,328	42.1	7	887	13,812	6.4
東北	青森県	1,115	87,152	12,637	12	1,071	96.1	49	1,465	12,243	14.0
	岩手県	1,554	107,575	11,532	24	954	61.4	43	1,741	10,745	10.0
	宮城県	5,604	181,865	53,757	267	5,935	105.9	227	5,890	53,802	29.6
	秋田県	737	60,989	3,680	5	312	42.3	19	468	3,524	5.8
	山形県	1,040	82,902	7,615	18	765	73.6	18	1,054	7,326	8.8
	福島県	2,487	153,119	11,957	48	1,077	43.3	37	1,890	11,144	7.3
東北		12,537	673,602	101,178	374	10,114	80.7	393	12,508	98,784	14.7
関東	東京都	38,872	1,037,715	307,476	1,948	25,810	66.4	2,702	48,000	285,286	27.5
	茨城県	5,947	246,855	23,799	226	3,455	58.1	163	2,271	24,983	10.1
	栃木県	3,962	174,988	16,862	104	1,447	36.5	195	1,996	16,313	9.3
	群馬県	3,401	166,198	18,705	126	1,971	58.0	161	3,047	17,629	10.6
	埼玉県	22,276	586,902	190,282	1,212	17,760	79.7	1,307	23,166	184,876	31.5
	千葉県	15,780	491,556	78,283	588	8,293	52.6	550	10,327	76,249	15.5
	神奈川県	36,083	961,589	193,337	1,581	21,738	60.2	2,148	25,614	189,461	19.7
	新潟県	2,774	194,269	13,810	30	1,127	40.6	98	2,380	12,557	6.5
	山梨県	2,839	118,022	36,130	214	4,360	153.6	269	4,045	36,445	30.9
長野県	3,432	209,506	34,353	108	2,371	69.1	294	6,356	30,368	14.5	
関東		135,366	4,187,600	913,037	6,137	88,332	65.3	7,887	127,202	874,167	20.9
中部	静岡県	15,438	450,799	46,513	365	6,564	42.5	422	5,028	48,049	10.7
	富山県	959	56,491	3,834	7	449	46.8	0	0	4,283	7.6
	石川県	1,355	66,608	7,927	13	586	43.2	92	1,628	6,885	10.3
	福井県	993	42,749	5,183	9	550	55.4	0	0	5,733	13.4
	岐阜県	2,561	126,448	5,639	67	1,332	52.0	16	190	6,781	5.4
	愛知県	16,929	517,676	66,320	885	11,311	66.8	221	2,142	75,489	14.6
	三重県	4,814	187,596	40,545	177	3,751	77.9	603	5,862	38,434	20.5
中部		43,049	1,448,367	175,961	1,523	24,543	57.0	1,354	14,850	185,654	12.8
近畿	滋賀県	3,583	135,565	61,290	249	5,248	146.5	803	10,453	56,085	41.4
	京都府	16,648	405,375	131,406	905	14,151	85.0	1,404	20,354	125,203	30.9
	大阪府	39,562	1,009,237	363,750	2,909	42,249	106.8	1,334	21,414	384,585	38.1
	兵庫県	20,748	636,293	81,049	1,098	17,259	83.2	420	5,816	92,492	14.5
	奈良県	6,100	200,088	28,292	153	2,408	39.5	333	4,188	26,512	13.3
	和歌山県	6,951	212,211	58,099	281	4,513	64.9	734	10,160	52,452	24.7
近畿		93,592	2,598,769	723,886	5,595	85,828	91.7	5,028	72,385	737,329	28.4
中国	鳥取県	718	33,857	10,290	77	762	106.1	75	1,763	9,289	27.4
	島根県	1,431	54,483	23,926	159	2,135	149.2	240	3,895	22,166	40.7
	岡山県	5,825	204,795	106,659	666	9,954	170.9	942	14,425	102,188	49.9
	広島県	14,820	374,388	293,263	1,903	28,352	191.3	2,549	41,804	279,811	74.7
	山口県	4,034	122,611	52,917	361	4,533	112.4	509	7,267	50,183	40.9
中国		26,828	790,134	487,055	3,166	45,736	170.5	4,315	69,154	463,637	58.7
四国	徳島県	2,414	92,742	11,064	180	1,409	58.4	108	1,013	11,460	12.4
	香川県	3,881	126,784	5,379	149	1,897	48.9	56	481	6,795	5.4
	愛媛県	8,690	235,106	132,900	636	13,503	155.4	1,551	18,004	128,399	54.6
	高知県	3,791	118,881	31,188	153	3,114	82.1	313	4,122	30,180	25.4
四国		18,776	573,513	180,531	1,118	19,923	106.1	2,028	23,620	176,834	30.8
九州	福岡県	14,797	428,362	52,049	475	5,837	39.4	434	6,966	50,920	11.9
	佐賀県	1,354	69,606	1,469	11	218	16.1	2	67	1,620	2.3
	長崎県	4,904	169,339	15,919	79	1,151	23.5	285	2,474	14,596	8.6
	熊本県	7,247	203,115	41,592	272	4,466	61.6	313	5,843	40,215	19.8
	大分県	3,541	121,240	13,303	107	1,555	43.9	81	1,758	13,100	10.8
	宮崎県	2,985	104,113	14,970	73	1,313	44.0	268	2,413	13,870	13.3
	鹿児島県	6,880	209,307	57,202	196	3,468	50.4	871	10,836	49,834	23.8
	沖縄県	5,235	166,550	14,593	215	3,939	75.2	181	1,648	16,884	10.1
九州		46,943	1,471,632	211,097	1,428	21,947	46.8	2,435	32,005	201,039	13.7
合計		380,242	11,959,919	2,806,116	19,344	297,751	78.3	23,447	352,611	2,751,256	23.0

2010年APEC首脳会議

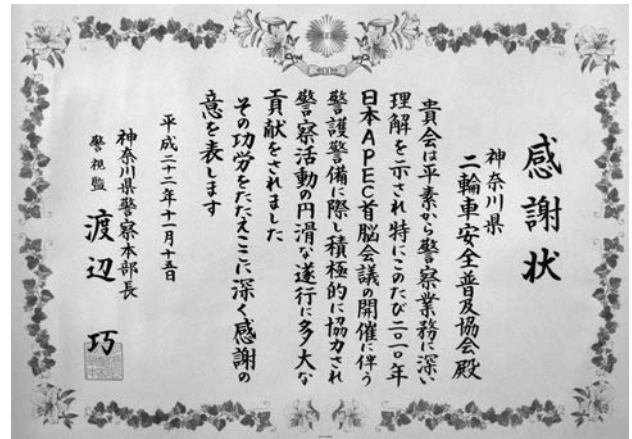
神奈川二普協に警備協力で
県警本部長から感謝状

全国二普協には警察庁より礼状

昨年6月から11月にかけて全国各地でAPEC関係のさまざまな会議が開催され、11月の横浜市における首脳会議で無事一連の警備が終了しました。

本警備に対する協力に対し、神奈川県警察本部長から神奈川県二普協に対し感謝状(=写真=)が贈られました。

また、全国二普協に対しても当協会会長宛てに警察



庁警備局長からAPEC警備の完遂の報告と警備協力に対する礼状が届けられました。

この間における皆様のご理解とご協力に対し感謝申し上げます。

編 集 後 記

新年明けましておめでとうございます 皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ご案内のとおり我が国は、一昨年来の深刻な経済情勢に一向に改善の兆しが見えず、二輪車市場につきましても国内新車販売台数の減少幅に若干の改善の兆しは認められますが、まだまだ厳しい環境下にあります。そのため私達二普協事業活動の展開に当たりましては、尚一層の知恵と工夫による対応が求められています。

昨年の二輪車乗車中の事故死者数については、871名(12月末現在)で原付・自動二輪車ともに、近年連続していた減少幅に若干の陰りがみえはじめており懸念される所です。二普協としましてはグッドライダーミーティングや店頭個別安全指導等を関係機関・団体の皆様のご理解とご協力を得ながら着実に実施し、交通事故撲滅を目指して尚一層の安全運転普及活動に努めてまいりたいと思っております。

G防犯登録の新車出荷台数比率については、昨年12月末現在で47.8%であり、残念ながら目標とした55%台を達成することができませんでした。また保有台数比についても依然として23.0%と低迷しております。「二輪車盗難照会システム」は現在加盟店数約3,356店で、こちらも目標である3,500店に及んでおりません。全国二普協といたしましては、このような非常に厳しい結果を真しに受け止め、今後とも関係機関・団体との緊密な連携を図りながら防犯登録の普及促進と盗難

照会システムの利用促進を図ってまいる所存であります。

先行き不透明な経済情勢下で二普協をめぐる環境は、益々厳しさを増すことが予測されます。本年も関係各機関・団体の皆様と緊密な連携を図りながら二輪車の安全と防犯という事業目的達成のために邁進してまいりたいと思っておりますので尚一層のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

日本経済の一日も早い回復を祈念しますとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

《謹詠》

新年祝賀

つつがなき御代でありませと祈りあげにひとしの
賀をたてまつりけり

本年もよろしくお願ひ申し上げます

(社)全国二輪車安全普及協会

- 専 務 理 事 國枝 英郎
- 常 務 理 事 中 蘭 善廣
- 安全普及部長 乾 政信
- 経 理 部 長 山本 禮仁
- G防システム部長 田島 和雄
- 職 員 清水 頼子
- 職 員 吉田真由子